放課後等デイサービス事業所 ぱれっと　支援プログラム

営業時間		①10：30～20：00　②10:30～18：30	送迎の有無	有
法人理念		小さな幸せをたくさん経験し、その嬉しさと達成感を1つ1つ成長の糧にしていく。 1人1人の希望、夢を自ら考えられる事業所を目指す。		
支援方針		5領域に則り嬉しさと達成感を1つ1つ成長の糧にしていく。		
サービス提供時間		①14：30～18：00　②10：30～16：30		
支援内容				
本人支援	健康・生活	・衛生習慣と生活リズムの形成…手洗いうがい、食事、排せつの指導を通して基本的な生活リズムを身につけます。また、食材に触れる、簡単な調理体験をする、偏食の改善を目指す等の食を営む力を育成します。 ・環境調整と構造化…生活の場面における環境を工夫したり、時間や空間をわかりやすく構造化することで、子供が自ら生活習慣を身につけ主体的に取り組めるように支援します。		
	運動・感覚	・身体機能の向上、運動能力の習得と向上…体操、ボール遊び等の集団での運動療法、視覚や聴覚、触覚を刺激する遊び、感覚の過敏、鈍麻に対応した環境調整をします。また日常生活に必要な動作の習得、身体的な発達、環境への適応能力の向上を目指します。		
	認知・行動	・行動障害の予防、対応や適切な行動の習得を目指します。数量や空間などの概念形成、個々の認知の偏りへの配慮(こだわりや偏食等)そしてコミュニケーションの困難性から生じる行動障害への予防、改善を目指します。スモールステップ、クールダウンの行い方、達成感を促すほめ方に工夫をします。		
	言語・コミュニケーション	・相手の意図を理解したり自分の気持ちを伝えるための基礎となる力を育てます。言葉を理解する力(受容)と、言葉で自分の気持ちや考え方を伝える力(表出)を養います。また、場面に応じた言葉使いやコミュニケーション、距離感の違いを伝え、使い分けられるよう支援します。		
	人間関係・社会性	・他者とのかかわりの形成として、基本的な信頼感を育み、周囲の人と安定した関係を築きます。そのために必要な集団活動のルールや手順を理解する、適切な行動や感情のコントロールを支援します。また、野外活動時には、買い物学習を中心として社会的マナーを身につけます。		
地域支援・地域連携(地域交流・園外活動)		・学校や児童が通う他の事業所と密に連携を取り、情報共有を行いながら、本人や家族の状況に合わせたきめ細やかな支援を行います。		
移行支援		・学校と児童の日常情報、宿題、支援計画を共有し、役割分担を明確にして連携します。また、将来的な進路を見据え成人向け障害福祉サービス事業所との連携、近隣の一般企業との連携を行います。		
家族支援		・保護者同士の交流の機会として、活動内容の発表会(予定)時に情報交換をしたり、悩みや不安を共有したりできる交流会(お茶会)を行います。また、相談支援事業所と連携し、保護者が安心して療育を利用できるようなサポートを行います。		
職員の質の向上		・職員の知識やスキル向上のための研修機会を提供します。(年間で10回以上)また、日々の支援に関する意見交換、会議を日常的に実施します。PDCAサイクルを意識し、日々の業務にあたります。		
主な行事等		・季節に合わせた行事(クリスマス会やバレンタイン等)　／　創作活動(おやつ作りや手芸などの制作活動等)　／　地域交流の機会(地域のお祭りに参加等)　／　余暇の提供(ボーリング大会やゲーム大会、公園やデパートへのお出かけ等)		

作成日：R8年9月3日